

お知らせ

後期高齢者医療制度にご加入のみなさまへ

後期高齢者医療保険料は、等しく負担いただく均等割額と、所得に応じて決まる所得割額の合計額で決定されますが、所得の少ない方などに軽減措置があり、今回の措置が次のとおり改正されます。
平成29年度保険料額の通知は7月中旬に送付します。

年度	所得割軽減	元被扶養者均等割軽減
平成28年度	5割	9割
平成29年度	2割	7割

右記以外に、均等割の5割軽減、2割軽減の対象が拡大されます。

健康課(内線2557)
和歌山県後期高齢者医療広域連合
Tel 073-42816688

老人医療費助成制度

老人医療費助成制度とは、満67歳以上69歳までの低所得の方の保険診療にかかる医療費の自己負担分を給付又は補助する制度です。

対象となる方には条件があります。詳しくは担当課までお問合せください。
問 高齢介護課(内線2609)



一日ドック(人間ドック・脳ドック)助成制度

問 健康課(内線343)

受診を希望される方は、特定健康診査受診券(対象者には4月下旬に郵送予定)・保険証・印鑑をご用意のうえ、健康課までお越しください。(今年度30歳～39歳の受診希望の方は、保険証・印鑑をご持参ください)

※有田市国民健康保険に6ヶ月以上加入し、国税の滞納がない世帯に属する方を対象としています。

※同一年度内に特定健診・人間ドック・脳ドックのいずれか一つを受診できます。

※昨年度、脳ドックを受診された方は今年度の脳ドック申込みはできません。

※定員になり次第受付を終了させていただきます。

人間ドック、脳ドックを受診された40～74歳の方で、生活習慣病の発症リスクが高い方については、保健師、管理栄養士が個別に健康づくりのサポートをしています。

	受付・定員	対 象	検査内容	受診機関	自己負担額
人間ドック	5月8日(月)～200名	今年度30～74歳の国保加入者(S18.4.1～S63.3.31生まれの方)	診察、血液検査、心電図、胸部X線検査、胃部X線撮影または内視鏡検査等	有田市立病院 桜ヶ丘病院	6,200円 6,370円
脳ドック	6月1日(木)～250名	今年度40～74歳の国保加入者(S18.4.1～S53.3.31生まれの方) 〈注〉脳外科で診療を受けている方、体内にペースメーカーや金属を入れている方は受診できません。	脳MRI・MRA検査、診察、血液検査等 (受診機関によって検査項目が異なります)	日本赤十字社 和歌山医療センター 和歌山医師会成人病センター 国保日高総合病院 健診センター・キタデ 有田市立病院	24,400円 19,000円 8,600円 7,980円 10,000円



こどもスマイル 4 月生まれ

元気いっぱいのお子さんを紹介します!

6月生まれのお子さん(就学前)を募集しています

氏名、生年月日、住所、電話番号、メッセージ(50字以内)を添えて、お申込みください。

※応募多数の場合は抽選

※宛先は裏表紙参照

申込方法/郵便・メール・持込

締切/4月末日

申・問 秘書広報課(内線205)



上田 凜ちゃん
(1歳)

凜ちゃん、1歳の誕生日おめでとう!
明るく元気にすくすくと育っていいね♡



中本 愛生ちゃん
(1歳)

ういちゃん、1歳の誕生日おめでとう♡
これからもいっぱいの笑顔で、元気に育ってね!



萬谷 楓香ちゃん
(2歳)

2歳の誕生日おめでとう♡毎日元気いっぱいの娘!産まれてきてくれてありがとう。元気に大きくなってね♡



上野山 海智ちゃん
(6歳)

6歳おめでとう!長かった保育所生活も最後だね!たくさん先生達に感謝してこれからもお兄ちゃん達に負けずに元気に育ってね!

シンボルに《たちうお》を制定

4月1日から有田市のシンボルとなる魚に「たちうお」を制定します。たちうおの漁獲量は、日本一を誇っており、また、「たっちょ」の呼び名で親しまれています。これまでも刺身や焼き魚、加工品として食されているほか、最近では外食において新メニューが登場し、評判を呼んでいます。今後は、有田市の愛されるシンボル「たちうお」として、広く市内外にアピールしていきます。



大健闘の第5位入賞☆

2月19日(日)、第16回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝が開催され、有田市チームが1時間11分56秒で、過去最高の第5位入賞を果たしました。

2ヶ月間、厳しい練習を積み重ね、当日はチーム一丸となって懸命にたすきをつなぎました。

選手の皆さん、本当におめでとうございます。

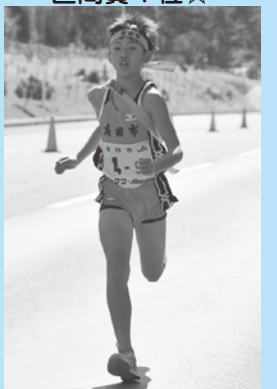


5年連続出場!



宮井 望嘉 選手
(第2区)

区間賞1位☆



北野 颯太 選手
(第9区)

私たちも地域の力に!

3月10日(金)、箕島中学校にて防災実技教育が行われました。災害が発生した際、地域の力となれるよう、知識と技術を身につけることを目的に、生徒たちは自衛隊員から実技指導を受けました。

AEDの使い方や、土のうづくりなどを学び、「もし災害が起こったらどうするか。今から準備できることは何か」など災害への意識を高める機会となりました。

